

美しさは内面から —ドクターユニットの内側—

現代のデンタルユニットは、精密器械と言っても過言ではない複雑な構造をしています。かつ、内部では電気と水という、相反する物質が交錯する、過酷な環境でもあります。

その中でも、複雑・高度化する機能をコントロールする中枢が、ドクターユニットです。一方で、ドクターユニットの故障は、些細なものであつても診療の手を止めてしまう可能性がある諸刃の剣。デンツプライシロナのトリートメントセンターは、前身であるシーメンス社の頃よりドクターユニット内部に着目。「機能の進化」と「ダウンタイムの低減」をコンセプトに設計がなされています。

も診療の手を止めてしまう可能性がある諸刃の剣。デンツプライシロナのトリートメントセンターは、前身であるシーメンス社の頃よりドクターユニット内部に着目。「機能の進化」と「ダウンタイムの低減」をコンセプトに設計がなされています。

1 独立したインスツルメント機構

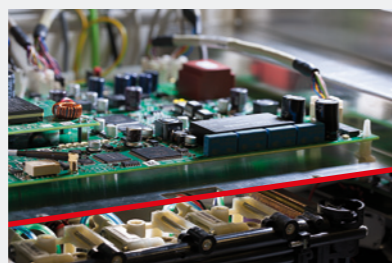
シリンジ、タービン、エンジン、スケーラー。個々のインスツルメントにエアと水を正確に供給するために、それぞれに小さなブロックを備えています。患者さんに治療を提供し続ける小さいながらも頼れる存在。これらの独立したブロックは、一つが故障しても、残りのインスツルメントは使用可能であり、かつ、わずかな時間で故障箇所の特定と修理を可能にします。



インスツルメントにエアと水を正確に供給する「Weißer Baustein」

2 水・エア回路と集中回路基板は完全分離

ドクターユニット内は、デスクトップコンピューター並みの集中回路基板と、水・エア回路が混在し、一滴の水が基盤に垂れただけでも大きな故障に繋がります。デンツプライシロナのトリートメントセンターは、水・エア回路と基板を完全に分離し、お互いに接触しない構造になっています。



ドクターユニット内は二階建て構造

3 ドイツのクラフトマンシップが生み出す美しいレイアウト

各々の回路から繋がれたケーブル類は整然と配置され、接続先が一目瞭然。万が一の時にも故障箇所のシューティングとその交換が短時間できるよう設計されています。100年以上にもわたり培われた経験から、見えないところにも徹底的にこだわるドイツのクラフトマンシップ。すべては歯科医療従事者、患者さんのために。



ウォーターユニット内部も電気回路、水回路を分離し、美しく配置された各コンポーネント

何十年と続く診療。メンテナンス性の高さ、修理のし易さは、器械を長く使用するうえで欠かすことのできない要素です。「より良い、より安全で、より早いデンタルケア」を実現するための私たちの取り組みが、トリートメントセンターの目に見えない内部にも表現されています。

一般的名称: 歯科用ユニット 販売名: シロナ TENEQ 認証番号: 224AABZ00105000 管理医療機器 特定保守管理医療機器 設置管理医療機器
一般的名称: 歯科用ユニット 販売名: シロナ SINILUS 認証番号: 224AABZ00065000 管理医療機器 特定保守管理医療機器 設置管理医療機器
一般的名称: 歯科用ユニット 販売名: シロナ INTEGO 認証番号: 226AABZ00151000 管理医療機器 特定保守管理医療機器 設置管理医療機器
一般的名称: 歯科用ユニット 販売名: シロナ INTEGOpro 認証番号: 228AABZ00067000 管理医療機器 特定保守管理医療機器 設置管理医療機器

デンツプライシロナ株式会社

本社/〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10 麻布借成ビル

支店・営業所

■札幌支店 Tel: 011-709-5800	■広島支店 Tel: 082-546-2301
■仙台支店 Tel: 022-266-4020	■福岡支店 Tel: 092-518-1800
■東京支店 Tel: 03-5148-7895	■盛岡営業所 Tel: 019-604-2340
■横浜支店 Tel: 045-440-1521	■庄内営業所 Tel: 0235-29-1217
■名古屋支店 Tel: 052-251-8467	■埼玉営業所 Tel: 048-799-2931
■大阪支店 Tel: 06-6243-6636	■静岡営業所 Tel: 054-653-2711

BT 6305PD

TREATMENT CENTERS REPORT.

2018. August

青森県十和田市 みきのがはら歯科医院

院長 小川 淳先生



包括データの「エビデンス」と、個人の「患者さん」から、見えるもの

青森県十和田市 | みきのがはら歯科医院 | 院長 小川 淳先生

青森県十和田市に開業され17年目を迎える「みきのがはら歯科医院」院長の小川 淳先生。奥様である小川 富貴子先生と共に、地域の医療を支えている。日本口腔外科学会の専門医でもあり、開業までの経験は、米国州立大学医学部と大学院口腔外科時代に遡る。その華麗なるキャリアを持つ小川先生は、その印象とは違い、患者さん個々と向き合う直球の治療に日々邁進されている。本州最北の地域で提供されている先端治療の源を辿る。

小川先生の歯科治療のモットー、コンセプトを教えてください。

長らく大学病院に勤務していましたので、臨床と研究は私にとって同じく重要なものでした。エビデンスを求めながら治療を行う、治療に迷ったら経験に頼らずエビデンスを求める、という「リサーチマインド」が私の根底にあります。また同時に、全ての治療に何らかの格差があってはいけないと思っています。虫歯治療はもちろん、入れ歯、口腔外科治療も、全く同等の“診療クオリティー”で臨んでいます。



最初に「トリートメントセンター」と出会ったのはいつですか？

20数年前の大学院に籍をおいていた時代、とある市立病院で初めて触れました。複数社のデンタルユニットが複数社、複数台ある中、(デンツプライシロナの前身である)シーメンス社のトリートメントセンターもありました。同時に、複数社のデンタルユニットをまんべん

なく使い、容易に比較することができる環境でした。中でもそのシーメンス社のトリートメントセンターは機能面、デザイン、操作感、全てが比べるべくもない、他を圧倒する素晴らしいものでした。



具体的に「トリートメントセンター」が突出していた点は何ですか？

デンタルユニットに求められる基本的な要件は「サクション」と「バキューム」、あと大事な点に「衛生面」が挙げられると思います。トリートメントセンター、力強いトルクと強力な吸引と、まだ当時、衛生管理について重要性が浸透していない中、先んじて厳しいヨーロッパ基準を満たしていた水清浄システムなど、必要要件を全てクリアしていました。そして、全ての機能、デザインが連結されている。よく考えられているな、と思いました。その時の感動が現行機種にも引き継がれていて、更に進化していたので、迷いなく現在のクリニックに導入しま

した。しかし一方で、本体サイズが大きくスペースが厳しいのでは、という心配もありました。マイクロも併用するので通常よりも厳しい制約もあったのですが、実際には一般的なデンタルユニットとそれほどサイズは変わりありませんでした。デザインの重心が下の方にあるのでそう思ったのかもしれませんが、逆に、それが美しいフォルムの要素なのかもしれません。蛇足ですが、海外のある要人の専用歯科診療室にも導入されていると聞いたことがあります。日本人の私も、とても納得です(笑)。



青森県十和田市 みきのがはら歯科医院

院長 小川 淳先生

1993年 岩手医科大学歯学部卒業
1997年 岩手医科大学大学院歯学研究科(口腔外科学専攻)卒業
岩手医科大学歯学部口腔科学第一講座副手
ミネソタ州立大学医学部放射線腫瘍学講座
Postdoctoral associate
1999年 岩手県立中央病院歯科口腔外科常勤臨時医師
2003年 岩手医科大学歯学部口腔外科学第一講座助手
2017年 岩手医科大学解剖学講座 機能形態学分野 非常勤講師

患者さんにとって「トリートメントセンター」が果たしているメリットは？

最も分かりやすい点として、「シートの形状」と「動き」ではないでしょうか。患者さんの全身、すなわち頭・首・背中・腕・腰・大腿部・足元までをキチンと支えてくれます。リクライニングするときは、上がってから倒れるのではなく、各所が個別に、ゆっくり動くので、モーションに重厚感があり、患者さんを治療の姿勢へ優しく誘導することができます。不安をもって治療に臨んでいる患者さんに、無意識のうちに最初に安心感を与えてくれていると思います。また、電動のヘッドレストで患者さん個々に調整するので、頭部をしっかりと支えてくれます。また、この電動ヘッドレストは首もしっかり支えてくれるので、首の痛みがある患者さんにも安心していただいています。

デンツプライシロナ社の製品イメージは？

革新的、の一語に尽きます。私自身、長く大学にいたので、エビデンスベースの予知性の高い治療を目指しています。同時に、新たな研究は日々行われており、今まで以上に良い治療を提供する義務があると思います。デンツプライシロナ社の製品は常に革新的であり、私の医療に対する考えと重なるものがあります。守らなければいけないもの、そして変わらなければならないものがあり、その狭間で医療は進化していきますが、「トリートメントセンター」は常に私の“相棒”として、診療を支えてくれています。

